AI 療法（アドリアシン＋イフォマイド）を受ける患者さん

主治医（　　）　受け持ち看護師（　　）　説明看護師（　　）

日付	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）
経過	入院日（治療前日）	治療 1 日目	治療 2 日目	治療 3 日目	治療 4 日目	治療 5 日目
到達目標	・入院生活や治療について理解することが出来る	・化学療法について気になることを医療者に伝えることが出来る ・副作用の症状について理解でき、症状を医療者に伝えることが出来る				
治療・処置・薬剤	・現在内服中の薬剤があれば確認します。 	・吐き気止めや体のきつさを緩和する点滴を行います。 ・抗がん剤の注射を行います。 アドリアシン(アドリアマイシン) イフォマイド(イフォスファミド) ・抗がん剤と並行して、水分の点滴も行います ・体重増加、浮腫に応じて利尿剤(尿を出す薬)の注射を行います		・吐き気止めや体のきつさを緩和する点滴を行います。 ・抗がん剤の注射を行います。 イフォマイド(イフォスファミド) ・抗がん剤と並行して、水分の点滴も行います。 ・体重増加、浮腫に応じて利尿剤（尿を出す薬)の注射を行います。 		
検査	・必要に応じて採血やその他の検査を行います。					
食事	・制限はありません	・吐き気、食欲減退、味覚変化に合わせて食事の変更が可能です。看護師に御相談ください。				
排泄	・制限はありません	・尿を貯めて 1 日の尿量を測定します（　／　まで） 医師の指示により継続することがあります。				
清潔	・シャワー浴が出来ます。身体がきついときは蒸しタオルも準備しておりますので御相談ください。					
説明・指導	・パンフレットを用いて副作用の説明を 行います。	・朝7時までに体重測定をしていただきます（　／　まで） 医師の指示により継続することがあります。 ・点滴の入っている部分が腫れたり、痛みを感じるときはすぐに看護師へ知らせて下さい。 ☆抗がん剤の副作用として、 嘔気・嘔吐・食欲不振・倦怠感・脱毛・骨髄抑制（白血球や血小板が少なくなり、感染を生じたり出血を起こしやすくなる） 腎機能障害(急に尿量が少なくなる)・肺機能障害(咳が出る、息苦しい) などの症状が出ることがあります。 症状には個人差がありますので、気になる症状はいつでも知らせてください。				

日付	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）
経過	治療 6 日目	治療 7 日目	治療 8 日目	治療 9 日目	治療 10 日目	治療 11 日目	治療 12 日目	治療 13 日目	治療 14 日目
到達目標	・副作用の症状について理解でき、症状を医療者に伝えることが出来る ・感染予防対策を理解し、実行できる								
治療・処置・薬剤	・水分の点滴を行います。 ・点滴終了後は点滴の針を抜きます。					・採血の結果で好中球数の減少が強い場合は、 好中球数を増やす皮下注射を行う可能性があります 			
検査	・必要に応じて採血やその他の検査を行います								
食事	・吐き気、食欲減退、味覚変化に合わせて食事の変更が可能です。看護師に御相談ください。								
排泄	・制限はありません								
清潔	・制限はありません								
説明・指導	・副作用症状など気になる症状や疑問がございましたらいつでも御相談下さい。 								

・以上はあくまでも標準的なものであり、変更があれば随時お知らせします。

九州がんセンター　整形外科　2021．8